

植田有紀クリスチアネ

ブラジル

兵庫県ブラジル連絡員

①新型コロナウイルス感染拡大前後で生活はどのように変化しましたか。

以前は週 5 日事務室に出勤し、会議やイベントなどに参加していました。週末には、家族や友人に会って外食やイベントに参加するなどしていました。

コロナが広がってからは、毎日が驚きの日々でした。ブラジルでは、国、州、自治体レベルで新型コロナウイルス感染症に関する規定が定められていました。会社の閉鎖、自宅待機、飲食店や営業活動の休止、マスク着用・予防接種の義務化など、毎日公式サイトでルールを確認し、それに従いました。会議も 100%オンラインになり、イベントやお祝い事も 2 年間自粛せざるをえなくなりました。

②コロナ禍で気づいたことや学んだことはなんですか。

ブラジルから遠く離れた場所で起きていたことが、あっという間に世界中に広がっていくことに恐怖と不安を覚えました。いつか状況は好転すると信じていました。

感謝の気持ちを大切にすることと、人生がいかに貴重な時間であるかを学びました。家族や友人、心が優しい隣人など、身近で些細な物事をより大切にするようにしています。

⑤ブラジルと日本との違いを強く感じた場面があれば教えてください。

私はマスクを着用するようにしていますが、ブラジルではほぼ全ての場所で着用義務がなくなり、会社やレストランも通常通り営業を再開しています。飛行機や空港ではマスク着用は依然として義務化されています。